

既存ダムの洪水調節機能強化(事前放流)について

米代川水系既存ダムの洪水調節機能強化について

記録的豪雨災害となった昨年の台風第19号や平成30年7月豪雨等を踏まえ、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、関係省庁が連携し、必要な措置を講じるため、河川・ダム管理者、関係利水者により、米代川水系治水協定が締結された。

河川に被害をもたらすような大雨が予想される場合に、利水容量の一部を洪水調節容量として使用するため、米代川流域の各ダムでは事前放流を実施する。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針に基づく「協議の場」

【構成員】

○河川管理者

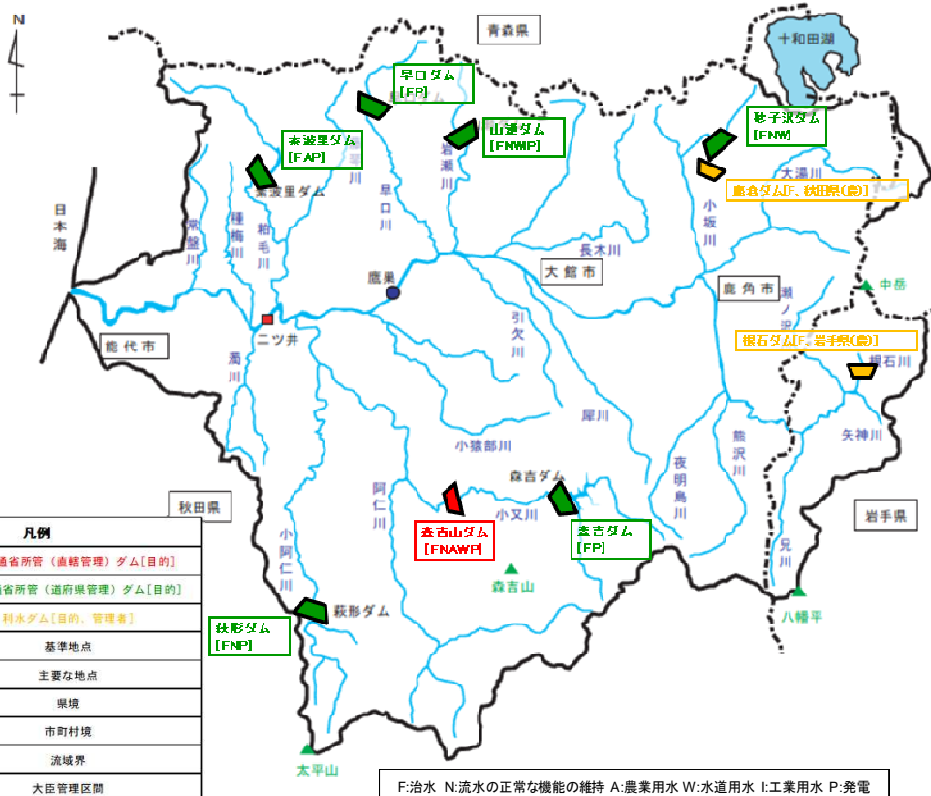
- ・能代河川国道事務所
- ・秋田県
- ・岩手県県土整備部

○ダム管理者

- ・能代河川国道事務所
- ・秋田県
- ・岩手県農林水産部

○関係利水者

- ・能代市
- ・大館市
- ・北秋田市
- ・鹿角市
- ・小坂町
- ・東北電力(株)秋田発電技術センター
- ・東北電力(株)能代火力発電所
- ・三菱マテリアル(株)
- ・秋田県能代地区土地改良区



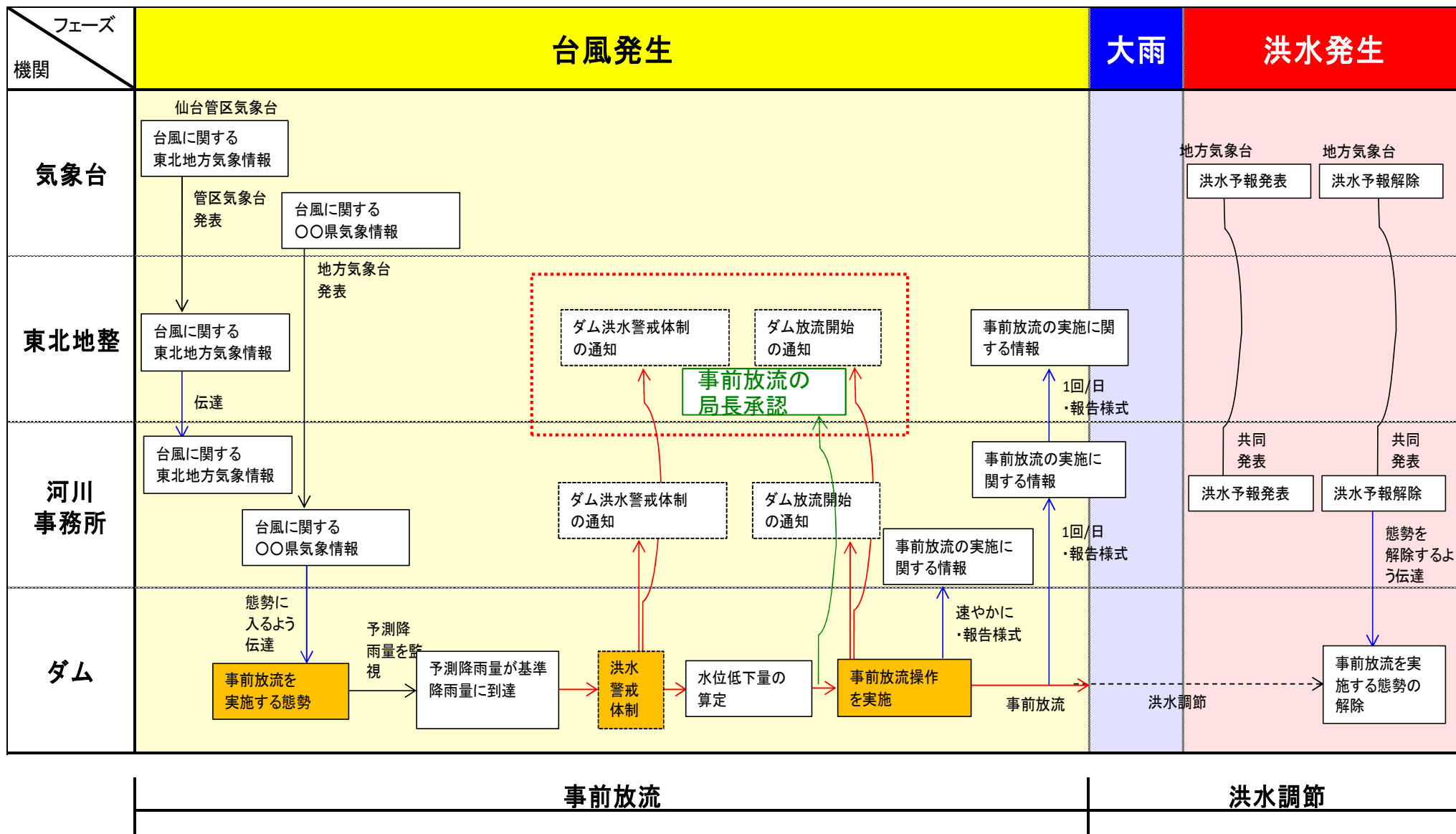
ダム名	有効貯水容量 (千m3)	洪水調節容量		洪水調節可能容量		水害対策に 使える容量	基準 降雨量 (mm)
		容量 (千m3)	有効貯水 容量に 対する割合	容量 (千m3)	有効貯水 容量に 対する割合		
● 森吉山	68,100	50,500	74.2%	1,555	2.3%	76.4%	100
● 森吉	26,900	9,800	36.4%	4,277	15.9%	52.3%	107
● 萩形	11,650	10,000	85.8%	4,950	42.5%	128.3%	207
● 素波里	39,500	13,000	32.9%	7,258	18.4%	51.3%	292
● 早口	5,050	5,050	100.0%	3,000	59.4%	159.4%	213
● 山瀨	10,900	7,900	72.5%	5,000	45.9%	118.3%	213
● 砂子沢	7,630	2,000	26.2%	1,737	22.8%	49.0%	124
○ 根石	875	0	0.0%	880	100.6%	100.6%	109
○ 鹿倉	857	0	0.0%	850	99.2%	99.2%	124
合計	171,462	98,250	57.3%	29,507	17.2%	74.5%	-

※●:多目的ダム、○:利水ダム

○水害対策に使える容量(9ダム)

締結前57.3% ⇨ 締結後74.5%
(約2,950万m3の増加)

治水協定に基づく事前放流に関する情報提供・共有の流れ



【凡例】

- 治水協定に基づく情報伝達
- 事前放流実施要領に基づく情報伝達